

山谷 OTAKU basa

ー ディスプレイ空間が点在するオタク拠点の形成 ー

Keywords

オタク文化 山谷地区 商店街
クリエイター 防火地域



AK16025 太田 陸央

1. はじめに

今や日本が海外に誇ることのできるサブカルチャーの一つに「オタク文化」がある。オタク文化の認知度は近年、国内でもさらに高まった。今日、様々な場所でアニメや漫画などのオタク文化に触れ合う機会が増えている。

2. 研究背景

今と昔では「オタク」という言葉の解釈は異なる。以前は、他人には理解できないものに夢中になっているマイノリティに対する呼び方が「オタク」であったが、オタク文化が大衆化していき、オタクに対する以前のようなネガティブイメージは減少した。その結果、オタク文化をライトに広く浅く楽しむライトオタクや、ゆるオタといわれる人たちが誕生した。

3. 敷地

3.1 TX線延伸計画・臨海地域地下鉄構想

現在、TX線は秋葉原―つくば間を結ぶ線だが、秋葉原から東京駅まで延伸し、さらに臨海地下鉄で銀座、晴海を経て臨海副都心の国際展示場まで繋がる延伸計画が近年現実味を帯び、10数年～20年後に完成する事業化計画が進んでいる。

この延伸計画の実現により、オタクの街である秋葉原とオタクの祭り場である国際展示場が繋がれ、より多くのオタクがTX線を利用することになる。

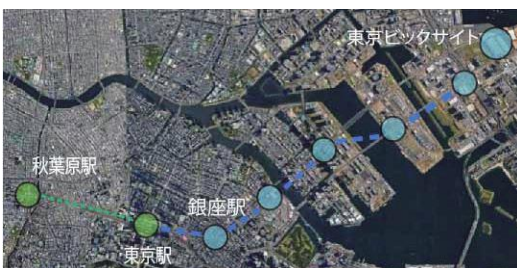


写真1 TX線延伸計画・臨海地域地下鉄構想

3.2 対象敷地

対象敷地は山谷地区に属する商店街である「いろは会商店街」の一部とそれに隣接する路地とその周辺の土地(敷地面積約9900㎡)とする。ここは山谷地区の中心道路からアクセスしやすい場所にも関わらず、経営者の高齢化や新規顧客の少なさから廃れており、本来の賑わいを失いシャッター街と化してしまっている。この敷地に対

し、経済効果や流入者を呼び込む機能を持たせることで、商店街本来の賑わいを取り戻し、まちの中核として再生する。



写真2 対象敷地

4. 現状問題点

(1) クリエイター

ライトオタクの誕生により、現代のオタクにおけるライトオタクの割合は増加し、市場はそれに合わせて高速転回するようになった。

ライトオタクはひとつの作品に執着せず、多作品に少量づつの投資を行う傾向がある。その結果、オタク文化の制作者である個々のクリエイターへの経済的還元は減少した。この傾向が続けばオタク文化の衰退の流れをつくりかねない。

(2) 同人

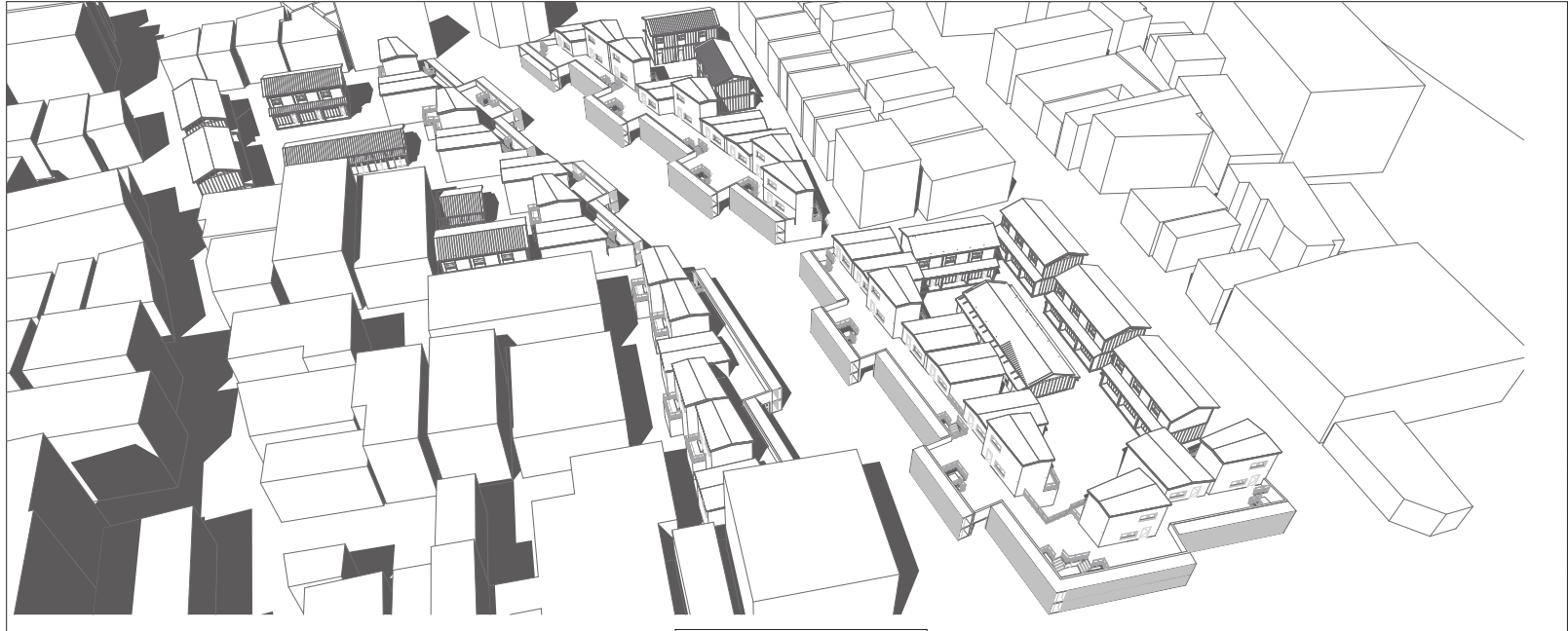
同人という分野は二次創作が多く、自分たちの作品を世に出す敷居が低いため、若いクリエイターが集まりやすい。

同人誌の市場規模は700億円とも言われ、情報化が進み、他カテゴリの紙媒体が低迷している中、これからの印刷市場の重要な一翼を担うのは同人誌だといわれている。これからのオタク文化の支柱となりうるのである。

しかし、若いクリエイター、つまりは生活が安定していないクリエイターが集まりやすく、前述した経済的還元の減少の流れを最も受けやすい分野ともいえる。

(3) 山谷地区の魅力の低下

既存のドヤ街を支えていたほとんどの店舗は店主の高齢化により閉店し、簡易宿泊所は需要の低下により廃れてしまった。

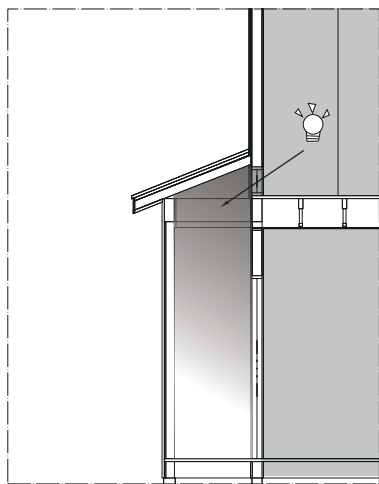


敷地俯瞰図

敷地にダイナミックに建てられた
ショーウォールと点在するクリエイ
ター住戸のショーケースが 24 時間稼働
するディスプレイ空間を生み出し、
クリエイターの作品宣伝の場と
オタク文化に触れられる機会を増やす。

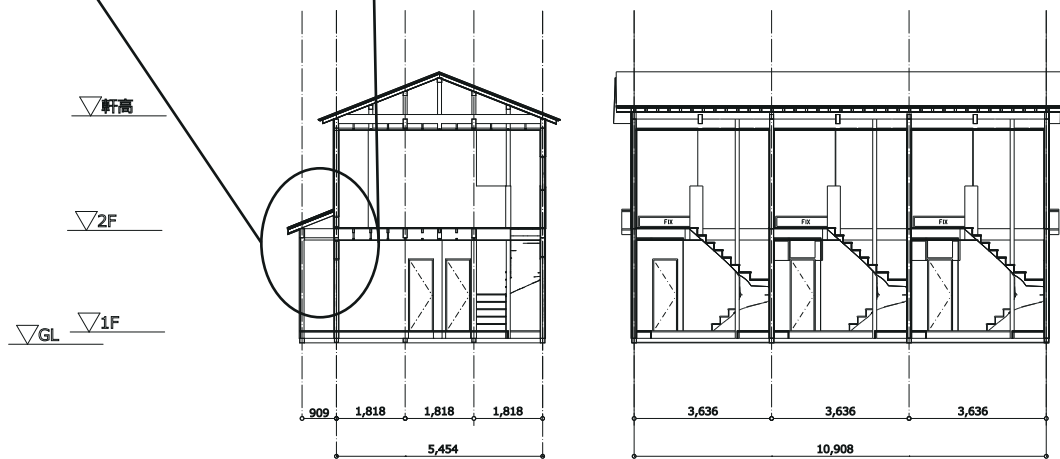


配置平面図 1/800



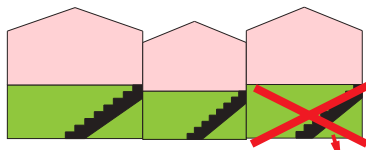
2階の地窓から住戸内の明かりがショーウィンドウを照らす。

クリエイター長屋詳細断面図



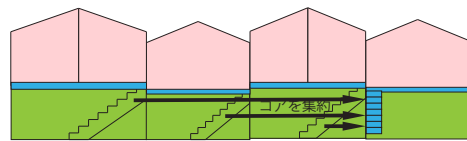
クリエイター長屋 1/200 断面図

従来の商店街の形



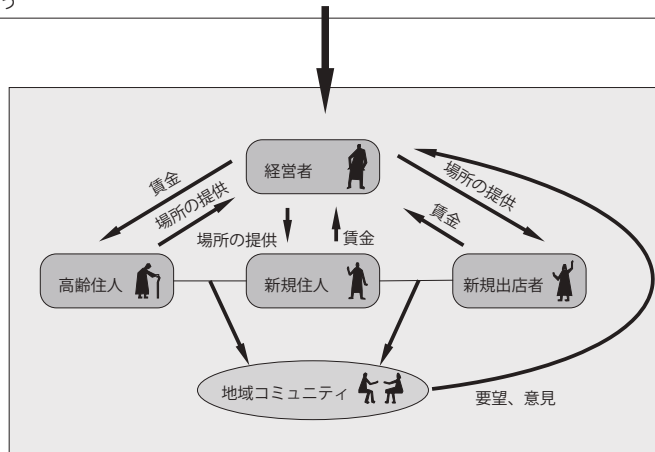
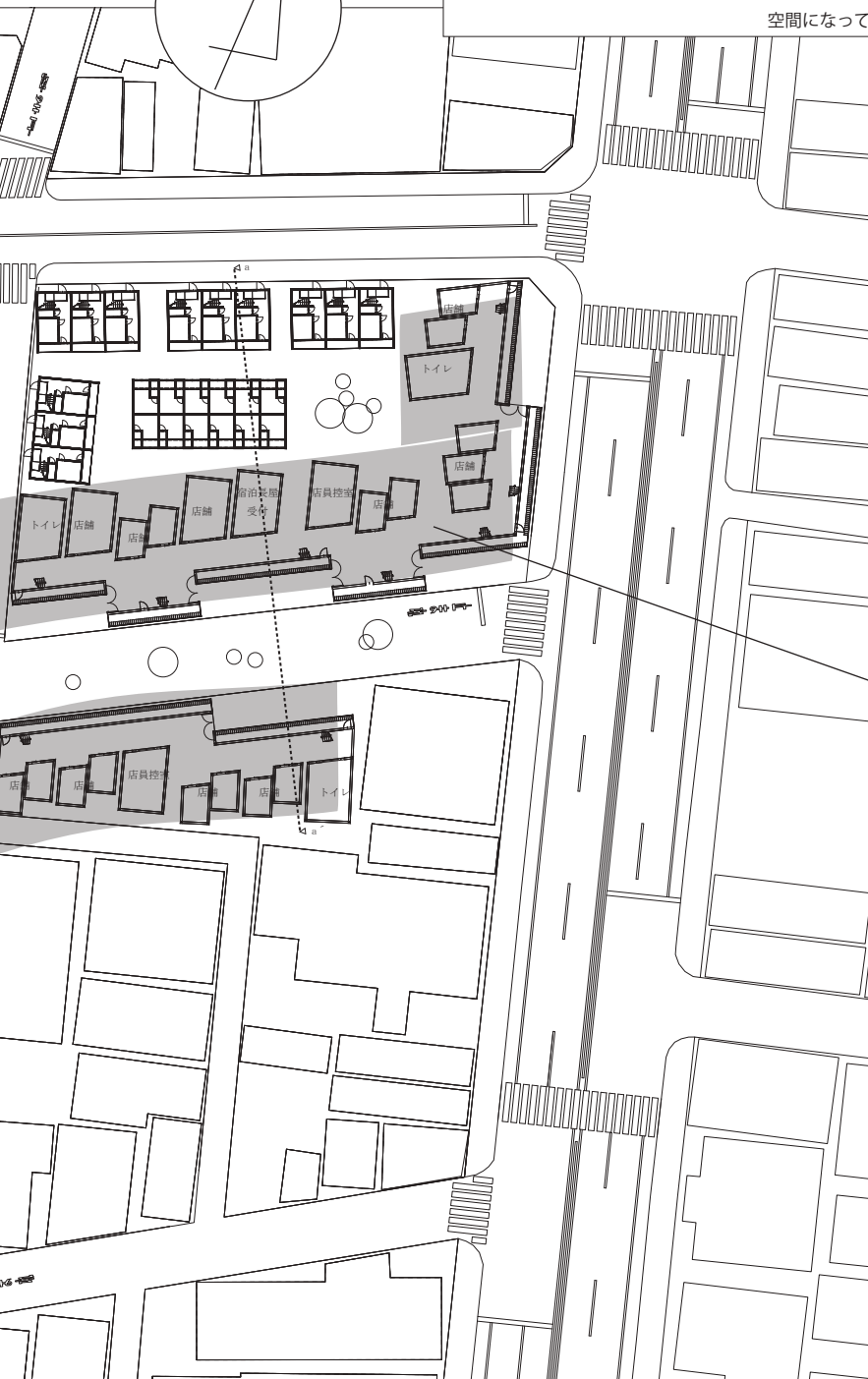
居住者が商業を引退した場合、使われない無駄な空間になってしまう

新しい商店街の形



- 商業部
- 住居部
- 共用部

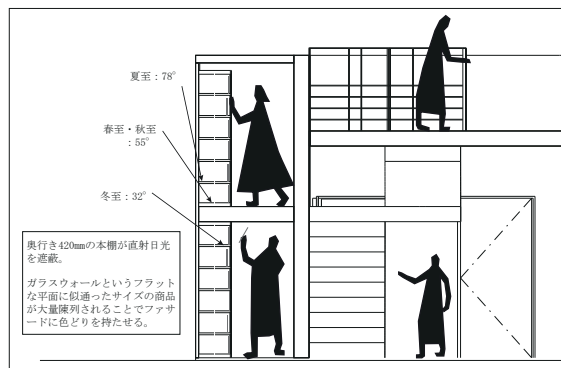
1F、2Fで商住を切り離し、コアを集約することによって、店舗、住居それぞれで賃貸できるようにする。



現在住んでいる高齢の住人も商店街の経営循環に組み込むことで、今ある地域のコミュニティを壊さずに、新たな建築、コミュニティを追加することができる。

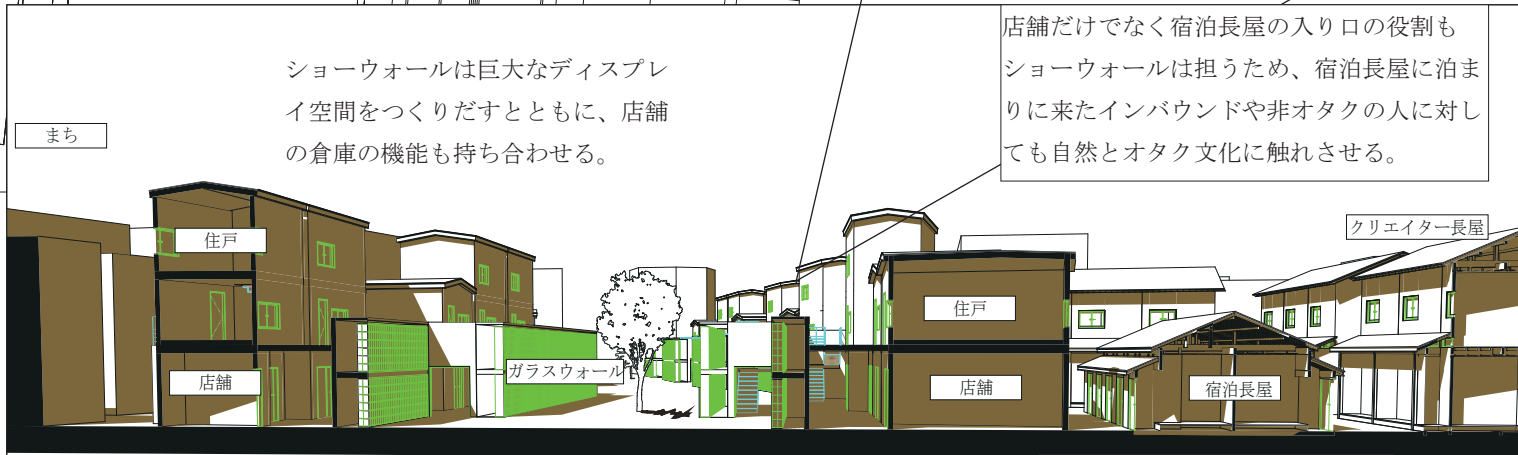
建築防火帯

RC造であるショーウォールと商店街が建築防火帯となる。木造兼チックの多い山谷地区では火災時、山谷の特色である昔ながらの建築や簡易宿泊所を延焼を防ぐ役割を果たす。



ショーウォールは巨大なディスプレイ空間をつくりだすとともに、店舗の倉庫の機能も持ち合わせる。

店舗だけでなく宿泊長屋の入り口の役割もショーウォールは担うため、宿泊長屋に泊まりに来たインバウンドや非オタクの人に対しても自然とオタク文化に触れさせる。



敷地全体 a-a' 断面図